

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	PC 規準指針小委員会	主 査 名：西山峰広
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：浜原正行
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在刊行されている「PC 規準」「PRC 指針」などの規準および指針類のメンテナンスト、数年内に刊行予定の「新 PC 規準」における設計法および構成の検討	
委員構成 (委員名(所属))	西山 峰広(京都大学), 加藤 博人(建築研究所), 阿波野 昌幸(日建設計), 池永 博威(千葉工業大学), 大迫 一徳(ピーエス三菱), 大野 義照(大阪大学), 岡本 晴彦(竹中工務店), 小山内 裕(オリエンタル建設), 佐藤 啓治(大成建設), 妹尾 正和(建研), 中塚 侑(大阪大学), 浜原 正行(日本大学), 深井 悟(日建設計), 松原 正安(大成建設), 由利 隆之(神鋼鋼線)	
設置 WG (WG 名: 目的)	<p>常時荷重設計法 WG: プレストレストコンクリート構造に関する最新の知見を反映させた常時荷重に対する指針を新たに作成し、当学会として発行することを最終目標としている。そのため、2004 年度においては、既往関連資料の評価、新たな解析的研究並びに設定する設計規範に対する試設計を行い、それらを反映させた設計指針案を完成させる。</p> <p>材料・施工 WG: 数年内に刊行予定の新 PC 規準の材料と施工に関する項目を検討し、「材料・施工編」を作成する。</p>	
2004 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回 6/16: 11 名 第 2 回 7/4: 12 名 第 3 回 10/27: 9 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 現在刊行されている「PC 規準」「PRC 指針」などの規準および指針類のメンテナンスト、数年内に刊行予定の「新 PC 規準」における設計法および構成の検討を行った。2004 年度日本建築学会大会において、「性能評価型 PC 規準に向けて - 設計法とその課題 - 」と題してパネルディスカッションを実施し、新しい PC 規準の概要・骨子を紹介し、広く学会員から意見を募った。この PD の結果を新 PC 規準作成に反映させた。
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 現在刊行されている「PC 規準」「PRC 指針」などの規準および指針類のメンテナンストに関しては適切に行われた。新 PC 規準への取り組みも基本構想を PD において提示し、会員から広く意見を得ることができた。また、常時荷重設計法 WG と材料・施工 WG の設置によりそれぞれの項目についての内容が進展した。
その他評価すべき事項	